

# 老年看護学実習Ⅱ記録

実習期間			
学籍番号		実習施設	施設
学生氏名		担当教員	

老年看護学実習Ⅱ 評価表

実習場所:( )施設

学籍番号:

実習期間:( )年( )月( )日～( )月( )日

学生氏名:

項目	評価内容	配点	自己評価	臨床評価	教員評価
高齢者の特徴を踏まえたコミュニケーション	施設で生活する高齢者の特徴が理解できる	5			
	高齢者に自主的に適切な言葉で話しかけられる	5			
	認知症の方とのコミュニケーションが図れる	5			
	効果的に非言語的コミュニケーションを活用できる	5			
アセスメント	包括的に情報収集ができる	5			
	施設利用の理由が明確にできる	5			
	施設での健康管理を理解し実践できる	5			
	健康課題を明確にできる	5			
	残存機能を生かしたケアができる	5			
	緊急時の対応を理解し学生として行動できる	5			
	家族 家族およびキーパーソンの状況を理解できる	5			
ケアサービス	専門性 看護職・介護職の役割を説明できる	5			
	施設職員と共にケアサービスを提供できる	5			
	カンファレンスの学びをケアに生かすことができる	5			
	環境 構造上の安全性について説明できる	2			
	人的環境に配慮し行動できる	2			
	感染管理に配慮し行動できる	2			
	他機関 職種間連携の実態を説明できる	2			
	地域における施設の位置づけを理解できる	2			
職業倫理	日々実習計画を立案し、記録提出できる	5			
	実習に必要な連絡・報告・相談ができる	5			
	自己の健康管理に気を配ることができる	5			
	清潔に留意した身だしなみを整えることができる	5			
合計		100			



利用者の概要 2

学籍番号：

学生氏名：

ICF	主なアセスメント項目	利用者の状態
心身機能・身体構造	<b>身体機能</b> 呼吸 血圧 脈拍：不整・結滞・左右差 体温 身長・体重：BMI	
	<b>皮膚</b> 皮膚の性状 耳鼻・口腔(義歯含む) 頭髪・爪	
	<b>運動器</b> 歩行：易転倒、跛行など 姿勢 麻痺 筋力	
	<b>感覚器</b> 感覚器：視聴覚など 発声と会話	
	<b>消化器</b> 嚥下機能 食事形態と量 食欲	
	<b>泌尿器</b> 排泄機能 排泄物の量と性状 尿・便意	
	<b>疾患</b> 症状 苦痛	
	<b>精神機能</b> 意識 認知症（種類と程度） BPSD:徘徊、妄想など 服薬遵守 パーソナリティ 意欲・活力	
	<b>睡眠</b> 睡眠時間：入眠, 中途覚醒等 睡眠の質：昼夜の区別含む	

利用者の概要 3

学籍番号：

学生氏名：

活動・参加	対人活動	コミュニケーション 理解する・伝達する 人間関係への配慮 人と過ごすことに関心 レクリエーション	
	ADL	起居・移動 更衣動作 清潔動作：清潔の方法含む 排泄動作 排泄時間・場所 食事動作 食事の用意や片付け *ADL の動作環境・補助具使用	
	生活管理	金銭の管理 買物、必需品の補充	
環境	物的	換気、温湿度、採光、音 睡眠の環境 整理整頓、掃除、ゴミ出し 環境の安全	
	人的	本人の家族への思い 家族との関係 その他の支援者	
個人		健康への関心・認識 趣味・楽しみ 生活習慣 ライフヒストリー 看取りの意思表示（本人） 看取りの意思確認（家族等）	











